



2025年3月期 第3四半期 連結決算概況

オリンパス株式会社 | 取締役 代表執行役 会長兼 ESG オフィサー 竹内 康雄 | 執行役 CFO 泉 竜也 | 2025年2月14日

- 代表執行役の竹内でございます。
- オリンパス株式会社「2025年3月期 第3四半期 決算説明会」にご参加いただき、誠に有難うございます。

免責事項

- 本資料のうち、業績見通しなどは、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいたものであり、判断や仮定に内在する不確定な要素および今後の事業運営や内外の状況変化などによる変動可能性に照らし、実際の業績などが目標と大きく異なる結果となる可能性があります。
- また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報および資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいようお願い致します。
- 本資料は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。また、医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれていますが、あくまでも当社の技術開発の一例としてご紹介するものであり、将来の販売をお約束するものではありません。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

第3四半期連結業績

売上高

7,252 億円

+9% / +3%



ESD +10% / +4%



TSD +7% / +2%

調整後営業利益

1,282 億円

+181 億円

調整後営業利益率

17.7%

+1.2 pt

■ 前期比 円ベース為替込み
■ 前期比 為替影響調整後

- 1 北米は、消化器科、泌尿器科、呼吸器科の3つの注力領域全てで2桁成長。前期比+22%（為替影響調整後+14%）の成長を達成
- 2 新興国市場は、特にESDが牽引し、前期比+20%超の成長を達成
- 3 「Elevate」の取り組みは、引き続き順調に進捗
- 4 第3四半期までの進捗や中国をはじめとした外部環境を考慮し、通期見通しを修正

- はじめに、当社の事業は、北米の消化器内視鏡が牽引し、第3四半期も堅調に成長しました。円安の追い風もあり、連結売上高は前年同期比9%の増収です。北米では、消化器科、泌尿器科、呼吸器科の3つの注力領域全てで2桁成長を実現し、前年同期比+22%の力強い成長を達成しました。
- 中国における反腐敗運動や購入量ベース調達制度、現地での競争激化などのマイナスの影響に加え、日本での予算執行の停滞や商談の遅延、英国での予算削減が引き続き発生しているものの、それを緩和する形で米国を中心とした顧客からの底堅い需要が全体的な成長を牽引しています。
- また、新興国市場においても力強い成長が続いており、特に内視鏡事業が牽引し、前年同期比+20%超の成長となりました。
- 品質保証・法規制対応の変革プロジェクト「Elevate」は、米国食品医薬品局（FDA）に対するコミットメントに沿って、引き続き順調に進捗しました。
- 2025年3月期の見通しについては、第3四半期までの進捗や中国をはじめとした外部環境を考慮し、修正しています。この先も状況を注視しながら適切かつ迅速に対応し、見通しの達成に向けて取り組んでまいります。

より効率的で、患者さんとお客様中心の展開とするための組織改編を実施

事業部門の再編成を含む組織改編を通じて、より迅速な事業運営や地域間における一貫性の確保、縦割り組織の解消に加え、患者さん第一を旨とし、患者さんとお客様を中心とした事業成長の実現を目指します



¹サブセグメント名は2026年3月期以降変更の可能性がございます。呼吸器科処置具を含みます

- 本日はまず、より効率的で、患者さんとお客様中心の展開とするための組織改編の実施について、お知らせいたします。
- 当社全体の組織と業務プロセスの強化に向け、グローバル・ターゲット・オペレーティング・モデル（GTOM）という取り組みを推進している中で、2025年4月から、よりお客様中心の事業部門に再編成します。各ビジネスユニット（BU）への注力を強化することで、診療領域を重視した組織への変革を進めてまいります。これにより、BUのグローバルマネジメントと各地域の営業チームが直接的に連携し、コラボレーションの促進やグローバル戦略と地域戦略の連携の強化、そして最終的には実効性の向上につながると期待しています。
- その一環として、事業部門である内視鏡事業と治療機器事業を、消化器内視鏡ソリューション事業（GIS）とサージカルインターベンション事業（SIS）の新しい部門に再編します。GISは消化器内視鏡、消化器科処置具、医療サービスで構成され、SISは泌尿器科、呼吸器科、外科で構成されます。
- この改編を通じて、より迅速な事業運営や地域間における一貫性の確保、縦割り組織の解消に加え、患者さんとお客様を中心とした事業成長の実現を目指します。

GIS：消化器科のエコシステムビジョン全体を1つの事業部門に統合



患者さんとお客様に対する目指すべき価値
臨床および業務上のワークフローを最適化し、
患者さんのアウトカムの改善を目指す



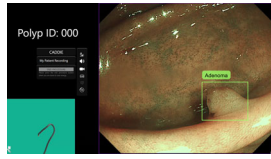
当社にとっての価値

消化器内視鏡システムのさらなる普及、安
定した収益、カスタマー・ロイヤルティの向上

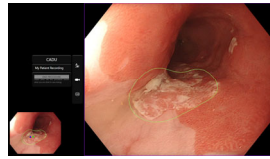
¹ OLYSENSEはオリンパス株式会社およびまたはそのグループ会社の商標です。すべての商標、ロゴ、ブランド名は、それぞれの所有者に帰属します
(注) 医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております

- GISでは、消化器科向けソリューションの全ポートフォリオを1つの事業部門でカバーできるようになります。
- 当社が目指すのは、内視鏡システム、スコープ、消化器科処置具、リプロセス、サービスといった幅広いポートフォリオと、クラウド型アプリケーションのシームレスな統合です。
- オリンパス独自の消化器科向けソリューションのポートフォリオにより、私たちは患者さんとお客様のために内視鏡の持つ力を最大限に引き出すことができます。
- 当社ならではの価値を提供し、お客様からの期待に応えることが、消化器内視鏡システムのさらなる普及、安定した追加収益源の確保、そして強固なカスタマー・ロイヤルティの醸成につながると確信しています。

OLYSENSE¹の発売：2026年3月期第1四半期にCAD/AI製品の販売を開始予定²



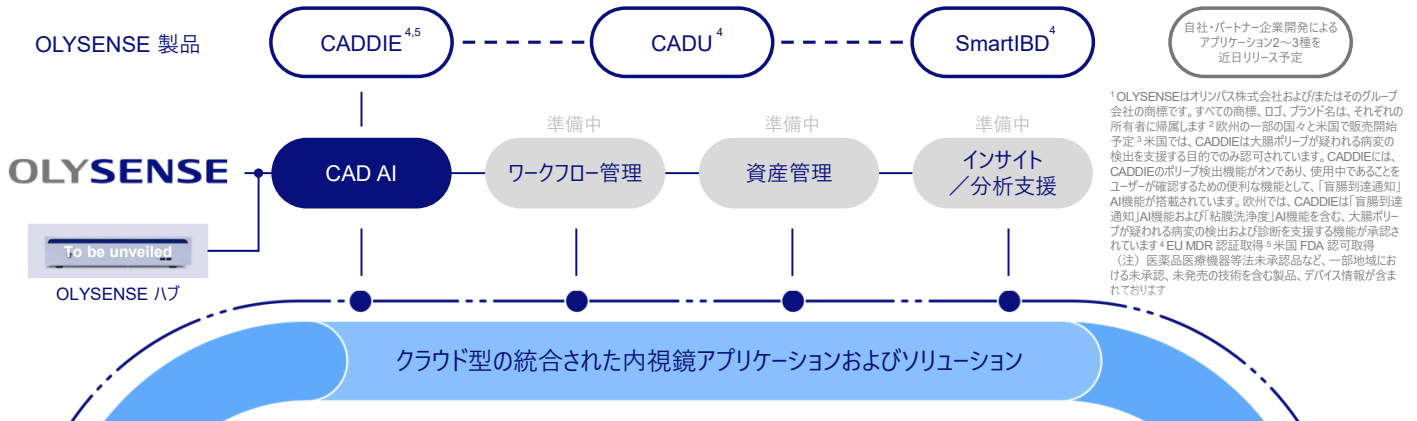
大腸ポリープ用のクラウド型
コンピューター検出・診断支援³



潜在的な異形成検出をサポートする
クラウド型コンピューター検出支援



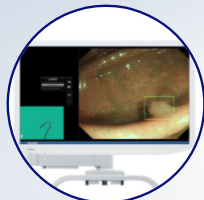
潰瘍性大腸炎分析用の
クラウド型機器



- まもなく販売を開始する予定のインテリジェント内視鏡医療エコシステムについて、お話をさせていただきます。
- 当社は、主にクラウド型の統合された内視鏡アプリケーションおよびソリューションの新しいサブブランドとしてOLYSENSEを立ち上げました。欧州の一部の国々と米国において、最初のCAD/AI製品の商業化に向けた準備が本格化しています。
- これは、GISにとって、戦略的に重要な市場投入となります。

Elevate：認可・認証取得、発売までのリードタイム短縮に向けた取り組み

「Elevate」の取り組みにより、戦略上重要な製品における認可・認証の取得が円滑化



CAD/AI (ODIN VISON)

EU MDR 認証取得 (2024年8月)
米国 FDA 認可取得 (2024年7月)

- 戦略的に重要なインテリジェント内視鏡医療エコシステム (OLYSENSE) の一部



EDOF スコープ

米国 FDAに認可申請 (2025年2月)

- 米国市場に大きな可能性
- 中国における現地製造と発売の計画



EU-ME3

米国 FDA 認可取得 (2025年1月)

- EU-ME2に代わる内視鏡用超音波観測装置として、消化器科と呼吸器科に導入



VISERA S OTV-S500

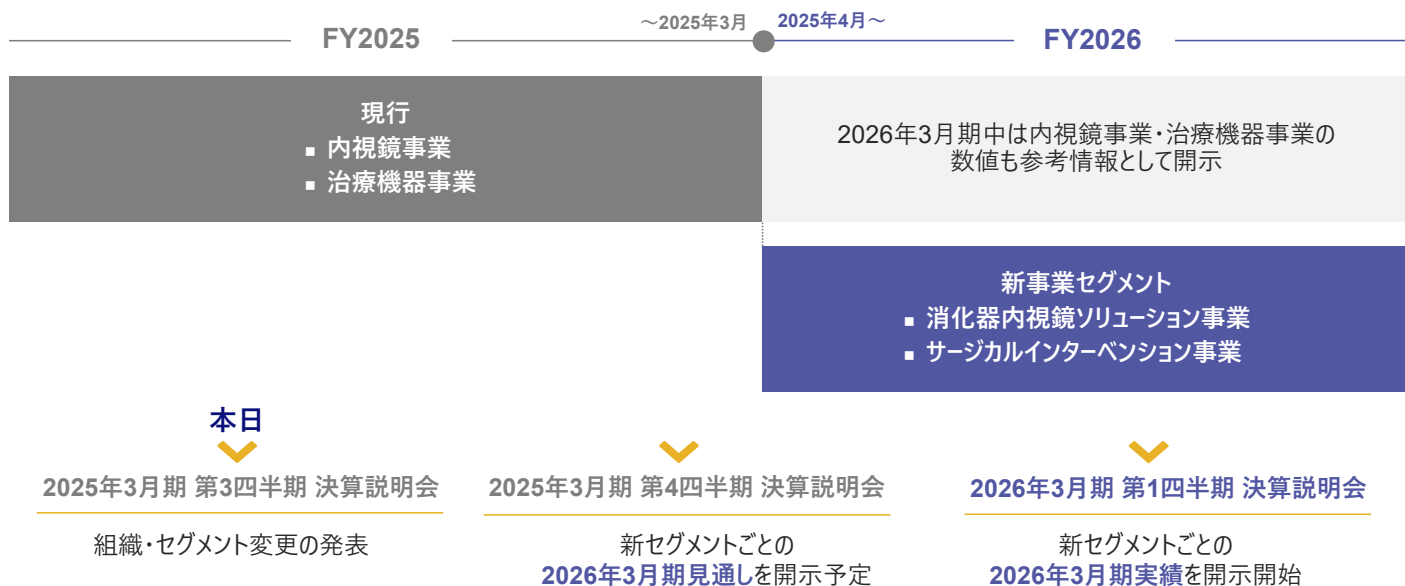
EU MDR 認証取得 (2024年7月)¹
米国 FDA 認可取得 (2024年7月)

- SISの売上に寄与

¹ OTV-S500は欧州ではClass IIに分類されています。必要な書類は2024年7月に署名されています (注) 医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております

- これまで当社は「Elevate」の取り組みを通して、製品の認可・認証取得、発売までのリードタイム短縮に取り組んでまいりました。その結果、こちらのスライドに示す戦略上重要な製品において、より円滑に認可・認証を取得できています。
- まず、OLYSENSE CAD/AIの新製品の発売予定については、すでにお話したとおりです。
- EDOFスコープの米国FDA申請と中国における現地製造の計画も進展しています。EDOFスコープは、すでに販売されている市場での実績を踏まえ、米国と中国の両市場でのさらなる成長を期待しています。
- また、内視鏡用超音波観測装置「EU-ME3」がFDA認可を取得しました。今後、米国での消化器科と呼吸器科の売上拡大を後押しすると見えています。
- さらに、米国と欧州で認可・認証取得した外来用内視鏡システム「OTV-S500」についても、SISの泌尿器科の売上に寄与することを期待しています。
- このようなElevateを通じた取り組みが今後の認可・認証申請に引き続きポジティブな効果をもたらし、オリンパスの持続的な成長の実現に繋がるものと考えています。

事業部門再編成に関する今後の開示方針



- 事業部門再編成に関する今後の開示方針ですが、次の第4四半期 決算説明会では、2026年3月期見通しを新事業セグメントごとに開示する予定です。
- そして、つづく2026年3月期 第1四半期 決算説明会より、新セグメントごとの実績の開示を開始します。
- 内視鏡事業と治療機器事業の数値につきましても、2026年3月期中は参考情報として開示いたします。
- それでは続いて、CFOの泉 竜也より第3四半期の業績概況についてご説明させていただきます。

2025年3月期 第3四半期累計実績 連結業績概況

- 1 売上高：消化器内視鏡システム「EVIS X1」をはじめ、注力3領域で二桁成長を実現した北米が牽引。為替の追い風もあり、+9%成長
- 2 営業利益・調整後営業利益：前期に計上したVeran Medical Technologies社関連の損失の減少や為替の追い風もあり、営業増益を達成。調整後営業利益率は累計で約18%
- 3 通期見通し：第3四半期までの進捗や中国をはじめとした外部環境を考慮し、売上高および各段階利益を修正

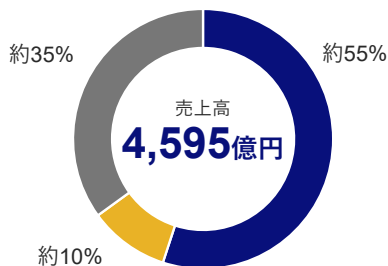
	第3四半期累計実績（4-12月）				通期見通し（4-3月）		
	（単位：億円）	FY2024	FY2025	前期比	為替影響調整後	FY2025 最新通期見通し	進捗率
売上高	6,681	1	7,252	+9%	+3%	3	9,975 73%
売上総利益 （売上総利益率）	4,467 (66.9%)		4,909 (67.7%)	+10% (+0.8%)	+3%		6,730 (67.5%) 73%
販売費および一般管理費 （販売費および一般管理費率）	3,362 (50.3%)		3,630 (50.1%)	+8% (▲0.3%)	+3%		4,990 (50.0%) 73%
その他の収益および費用など	▲725		▲192	-	-		▲230 -
営業利益 （営業利益率）	380 (5.7%)	2	1,088 (15.0%)	+186% (+9.3%)	+142%		1,510 (15.1%) 72%
調整後営業利益 （調整後営業利益率）	1,101 (16.5%)		1,282 (17.7%)	+16% (+1.2%)	0%		1,745 (17.5%) 73%
税引前利益 （税引前利益率）	320 (4.8%)		1,052 (14.5%)	+229% (+9.7%)	-		1,460 (14.6%) 72%
当期利益	2,356		764	▲68%	-		1,050 73%
親会社の所有者に帰属する当期利益	2,352		764	▲68%	-		1,050 73%

¹「売上高」から「税引前利益」までの数値は、継続事業の数値を記載

- CFOの泉でございます。
- 私から2025年3月期 第3四半期の連結業績および事業概況について、ご説明申し上げます。
- 売上高は7,252億円と、為替の追い風もあり、前年同期比9%の成長となりました。
- 消化器内視鏡システム「EVIS X1」をはじめ、当社の注力3領域（消化器科、泌尿器科、呼吸器科）全てで二桁成長を実現した北米が牽引しました。
- また、単四半期および累計としても過去最高¹の売上高となりました。
- 営業利益は1,088億円と前年同期比増益です。前期に計上したVeran Medical Technologies社関連の損失の減少や為替の追い風もあり、営業増益となりました。
- なお、営業利益における為替影響169億円に、棚卸資産の未実現利益消去44億円のプラスが含まれております。
- 調整後営業利益は1,282億円、前年同期比で16%増加しました。調整後営業利益率は1.2ポイント改善し、17.7%でした。
- 通期見通しは、第3四半期までの進捗や中国をはじめとした外部環境を考慮し、売上高および各段階利益を修正しました。詳細につきましては、スライド14ページ以降にご説明いたします。

¹ 医療分野（内視鏡事業・治療機器事業）の売上高

2025年3月期 第3四半期累計実績 内視鏡事業



(単位: 億円)	FY2024 3Q累計	FY2025 3Q累計	FY2025 最新 通期見通し	進捗率
売上高	4,193	4,595	6,340	72%
営業利益	836	939	1,375	68%
その他の収益および費用	▲119	▲129	▲140	-
調整後営業利益	955	1,068	1,515	70%
営業利益率 (為替影響調整後)	19.9%	20.4% (18.5%)	21.7%	-
調整後営業利益率 (為替影響調整後)	22.8%	23.2% (21.4%)	23.9%	-

FY2025 vs FY2024 (4-12月) 売上高成長率

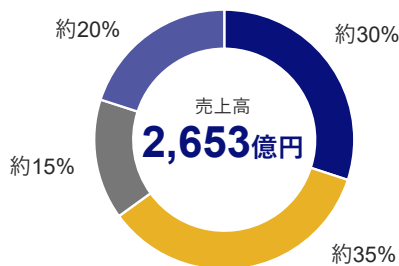
円ベース
為替込み

為替影響
調整後

売上高成長率	円ベース 為替込み	為替影響 調整後
■ 消化器内視鏡	9%	4%
■ 外科内視鏡	5%	0%
■ 医療サービス	12%	6%
合計	10%	4%

- 次に各セグメントの概況について、ご説明します。
- まず内視鏡事業です。売上高は前年同期比10%の成長でした。その他の収益および費用を除外した調整後営業利益は1,068億円と前年同期比で増益、調整後営業利益率は23.2%と利益率も改善しています。
- 各領域の事業概況ですが、消化器内視鏡では、消化器内視鏡システム「EVIS X1」の販売が好調な北米で+39%の成長となりました。一方、反腐敗運動などの影響により中国で減収となりました。
- 外科内視鏡では、中国で減収の一方、北米や欧州、アジア・オセアニアで増収となりました。主にアジア・オセアニアで外科内視鏡システム「VISERA ELITE III」などが堅調に推移した結果、為替の追い風もあり、プラス成長となりました。
- 医療サービスでは、保守サービスを含む既存のサービス契約の安定的な売上や新規契約の増加などもあり、欧州や北米を中心に全地域でプラス成長となりました。

2025年3月期 第3四半期累計実績 治療機器事業



(単位: 億円)	FY2024 3Q累計	FY2025 3Q累計	FY2025 最新 通期見通し	進捗率
売上高	2,472	2,653	3,630	73%
営業利益	▲162	423	545	78%
その他の収益および費用	▲585	▲76	▲85	-
調整後営業利益	423	499	630	79%
営業利益率 (為替影響調整後)	-	16.0% (15.1%)	15.0%	-
調整後営業利益率 (為替影響調整後)	17.1%	18.8% (18.0%)	17.4%	-

FY2025 vs FY2024 (4-12月) 売上高成長率

円ベース 為替込み

為替影響 調整後

■ 消化器科処置具	7%	■ 北米や欧州を中心にプラス成長。肝胆膵疾患（内視鏡的逆行性胆道膵管造影術(ERCP)製品など）製品群などの売上が増加	2%
■ 泌尿器科	13%	■ 北米や欧州を中心に好調に推移。尿路結石用破碎装置「SOLTIVE SuperPulsed Laser System」や前立腺肥大症(BPH)用の切除用電極の売上が増加	6%
■ 呼吸器科	14%	■ 北米や欧州を中心にプラス成長。超音波気管支鏡ガイド下針生検(EBUS-TBNA)で主に使用される処置具や超音波気管支鏡が好調に推移	8%
■ その他の治療領域 ¹	▲5%	■ 主に他社製品の取り扱い終了の影響を受けた日本で減収	▲10%
合計 ¹	7%		2%

¹ 他社製品の取り扱い終了の影響を考慮した場合、その他治療領域の円ベースの成長率は+3%、為替影響調整後の成長率は▲2%。治療機器事業の円ベースの成長率は+9%、為替影響調整後の成長率は+4%

- 治療機器事業です。売上高は前年同期比7%と成長しました。その他の収益および費用を除外した調整後営業利益は499億円と前年同期比で増益、調整後営業利益率は18.8%と内視鏡事業同様に治療機器事業の利益率も改善しています。
- 各領域の事業概況ですが、注力3領域である、消化器科処置具、泌尿器科、呼吸器科の全ての領域で、北米や欧州を中心にプラス成長となりました。
- 消化器科処置具では、肝胆膵疾患の製品群などの売上が増加しました。
- 泌尿器科では、尿路結石用破碎装置「SOLTIVE SuperPulsed Laser System」や前立腺肥大症用の切除用電極の売上が増加しました。
- 呼吸器科では、超音波気管支鏡ガイド下針生検で主に使用される処置具や超音波気管支鏡が好調に推移しました。

連結財政状態計算書

1 自己株式の取得および借入金の返済を主因に、現預金は減少

2 増加要因として当期利益の計上等があった一方、自己株式の取得及び配当金の支払により、資本は減少

(単位：億円)	2024年3月末	2024年12月末	増減額		2024年3月末	2024年12月末	増減額
流動資産	8,003	6,474	▲1,530	流動負債	4,317	4,146	▲171
現金及び現金同等物	3,409	2,203	1 ▲1,207	社債および借入金	700	950	+250
棚卸資産	1,900	1,971	+71	非流動負債	3,453	2,577	▲876
非流動資産	7,339	7,595	+257	社債および借入金	2,296	1,384	▲913
有形固定資産	2,600	2,609	+9	資本	7,572	7,347	2 ▲225
無形資産	920	933	+13	自己資本比率	49.4%	52.2%	+2.8pt
のれん	1,803	1,885	+82	負債および資本合計	15,342	14,069	▲1,273
資産合計	15,342	14,069	▲1,273				

- 2024年12月末の財政状態です。
- 資産合計は前期末比1,273億円の減少となりました。
- 自己株式の取得や借入金の返済により、現預金が減少したことが主な理由です。
- また、資本ですが、増加要因として当期利益の計上等があったものの、自己株式の取得及び配当金の支払により減少しました。
- 自己資本比率は前期末比で2.8ポイント増加し、52.2%となりました。

連結キャッシュフロー計算書

- FCF：前期はエビデントの譲渡があったため、FCFは前年同期比で大きく減少しているものの、特殊要因を考慮した調整後FCF¹は634億円のプラス
- 財務CF：自己株式の取得による支出や借入金の返済及び社債の返還、配当金支払を主要因に、2,066億円のマイナス

		(単位：億円)		
		FY2024 3Q累計	FY2025 3Q累計	増減
継続事業	税引前利益	320	1,052	+732
	営業キャッシュフロー（営業CF）	▲129	1,263	+1,392
	投資キャッシュフロー（投資CF）	3,914	▲426	▲4,340
	フリーキャッシュフロー（FCF）	3,786	837	▲2,948
	調整後フリーキャッシュフロー（調整後FCF）	310	1 634	+323
	財務キャッシュフロー（財務CF）	▲2,408	2 ▲2,066	+342
	現金および現金同等物期末残高	3,486	2,203	▲1,283

2024年3月期第3四半期累計（4-12月）の主な特殊要因

営業CF：エビデント株式譲渡益に伴う法人税の支払	▲873億円
投資CF：エビデント株式譲渡対価などの受領	+3,852億円
投資CF：エビデントに対する貸付金の回収	+520億円

¹「その他の収益・その他の費用のうちキャッシュイン、アウトしたもの」、
「M&A関連支出」、「構造改革関連支出」を調整

2025年3月期 第3四半期累計（4-12月）の主な特殊要因

営業CF：エビデントの譲渡に関する法人税の還付	+290億円
営業CF：社外転進支援制度の引当金取崩しによる支出	▲53億円
営業CF：Veran Medical Technologies社の撤退に関わる支出	▲17億円
営業CF：条件付対価の決済による支出（Odin Medical社等）	▲12億円
投資CF：投資有価証券の取得による支出	▲85億円
投資CF：条件付対価の決済による支出（Odin Medical社、Medi-tate社等）	▲46億円
投資CF：整形外科事業の譲渡に伴う収入	+51億円
投資CF：買収解除に伴う買収対価の戻り	+76億円

- キャッシュフローの状況です。
- 前年同期にはエビデントの譲渡による影響が含まれているため、一見キャッシュフローが大きく減少しているように見えますが、特殊要因を調整したフリーキャッシュフローは前年同期と比較し改善しております。項目ごとに見ていきます。
- 営業キャッシュフローは、1,263億円のプラスとなりました。税引前利益の増加に加え、法人所得税の還付等により前年同期比大幅な増加となりました。
- 投資キャッシュフローは、426億円のマイナスとなりました。主な要因は、有形固定資産および無形資産の取得による支出です。
- フリーキャッシュフローは、837億円のプラスです。事業取得、譲渡、再編など特殊要因を考慮した調整後のフリーキャッシュフローは634億円のプラスとなりました。
- 財務キャッシュフローは、2,066億円のマイナスとなりました。自己株式の取得による支出等や借入金の返済及び社債の償還、配当金の支払を行ったことが主要因です。
- 結果、2024年12月末の現金および現金同等物残は2,203億円となりました。

2025年3月期 通期業績見通し 連結業績

- 1 売上高：第3四半期までの進捗や中国をはじめとした外部環境を考慮し、9,975億円に修正
- 2 調整後営業利益：減収による売上総利益の減少を主因に、調整後営業利益は1,745億円、調整後営業利益率は17.5%に修正
- 3 当期利益：1,050億円に修正、EPSは92円となる見通し

(単位：億円)		2025年3月期 前回公表見通し	2025年3月期 最新見通し	増減	前回は	為替影響 調整後	2024年3月期 通期実績	前期比	為替影響 調整後	
1 継続事業	売上高	10,090	1	9,975	▲115	▲1%	▲2%	9,258	+8%	+3%
	売上総利益 (売上総利益率)	6,910 (68.5%)		6,730 (67.5%)	▲180	▲3%	▲4%	6,184 (66.8%)	+9%	+2%
	販売費および一般管理費 (販売費および一般管理費率)	4,940 (49.0%)		4,990 (50.0%)	+50	+1%	0%	4,668 (50.4%)	+7%	+3%
	その他の収益および費用など	▲210		▲230	-	-	-	▲1,003	-	-
	営業利益 (営業利益率)	1,760 (17.4%)		1,510 (15.1%)	▲250	▲14%	▲15%	514 (5.6%)	+194%	+153%
	調整後営業利益 (調整後営業利益率)	1,975 (19.6%)	2	1,745 (17.5%)	▲230	▲12%	▲13%	1,513 (16.3%)	+15%	+1%
	税引前利益 (税引前利益率)	1,700 (16.8%)		1,460 (14.6%)				436 (4.7%)		
	当期利益	1,210		1,050				2,429		
	親会社の所有者に帰属する当期利益	1,210	3	1,050				2,426		
	EPS	106円		92円				200円		
				2025年3月期配当						
				年間配当20円を予定						

¹「売上高」から「税引前利益」までの数値は、継続事業の数値を記載

- 次に、2025年3月期の通期業績見通しについてご説明申し上げます。
- 第3四半期までの進捗や中国をはじめとした外部環境を考慮し、売上高を9,975億円に修正しました。
- これに伴い、売上総利益が減少したことを主因として、調整後営業利益は1,745億円、調整後営業利益率は17.5%に修正しました。
- 当期利益は1,050億円、EPSは92円を見込んでおります。
- なお、業績見通しの前提となる想定為替レートは、1ドル154円、1ユーロ164円としています。
- 2025年3月期末の配当は、2024年5月に公表した配当予想を据え置き、20円を予定しております。

2025年3月期 通期業績見通し セグメント別業績

1 内視鏡事業：中国をはじめとした外部環境を考慮し、売上高・営業利益・調整後営業利益を修正

2 治療機器事業：第3四半期までの進捗を踏まえ、調整後営業利益を修正

(単位：億円)	2025年3月期 前回公表見通し	2025年3月期 最新見通し	増減	前回比	為替影響調整後	2024年3月期 通期実績	前期比	為替影響調整後
内視鏡								
売上高	6,450	1	▲110	▲2%	▲3%	5,866	+8%	+3%
営業利益 (営業利益率)	1,620 (25.1%)	1,375 (21.7%)	▲245	▲15%	▲16%	1,047 (17.8%)	+31%	+15%
調整後営業利益 (調整後営業利益率)	1,745 (27.1%)	1,515 (23.9%)	▲230	▲13%	▲14%	1,331 (22.7%)	+14%	+1%
治療機器								
売上高	3,630	3,630	0	0%	▲1%	3,373	+8%	+3%
営業利益 (営業利益率)	545 (15.0%)	545 (15.0%)	0	0%	0%	▲85 (-)	-	-
調整後営業利益 (調整後営業利益率)	620 (17.1%)	2	+10	+2%	+1%	570 (16.9%)	+10%	+1%
全社・消去								
営業損益	▲405	▲400	+5	-	-	▲445	-	-
連結合計								
売上高	10,090	9,975	▲115	▲1%	▲2%	9,258	+8%	+3%
営業利益 (営業利益率)	1,760 (17.4%)	1,510 (15.1%)	▲250	▲14%	▲15%	514 (5.6%)	+194%	+153%
調整後営業利益 (調整後営業利益率)	1,975 (19.6%)	1,745 (17.5%)	▲230	▲12%	▲13%	1,513 (16.3%)	+15%	+1%

- セグメント別の通期業績見通しです。
- 内視鏡事業は、中国での反腐敗運動等による予算執行の回復の遅れや英国における厳しい予算等、各地域の外部環境等を考慮して、前回見通しから売上高、営業利益、調整後営業利益を修正しています。
- 治療機器事業は、第3四半期までの進捗を踏まえ、調整後営業利益を修正しています。

OLYMPUS

- 今期も残り約2か月を切っていますが、外部環境等の状況は予断を許さないものがあります。タイムリーに必要な対策を講じることで、本日お示した通期業績見通しの達成に向け、取り組んでまいりたいと思います。
- 私からの説明は以上です。ありがとうございました。

参考資料

開示の変更点

整形外科事業の譲渡に伴い、2025年3月期より、その他事業に含まれていた整形外科事業を非継続事業¹として開示「報告セグメント」²を内視鏡事業と治療機器事業の2区分に変更（国際会計基準）

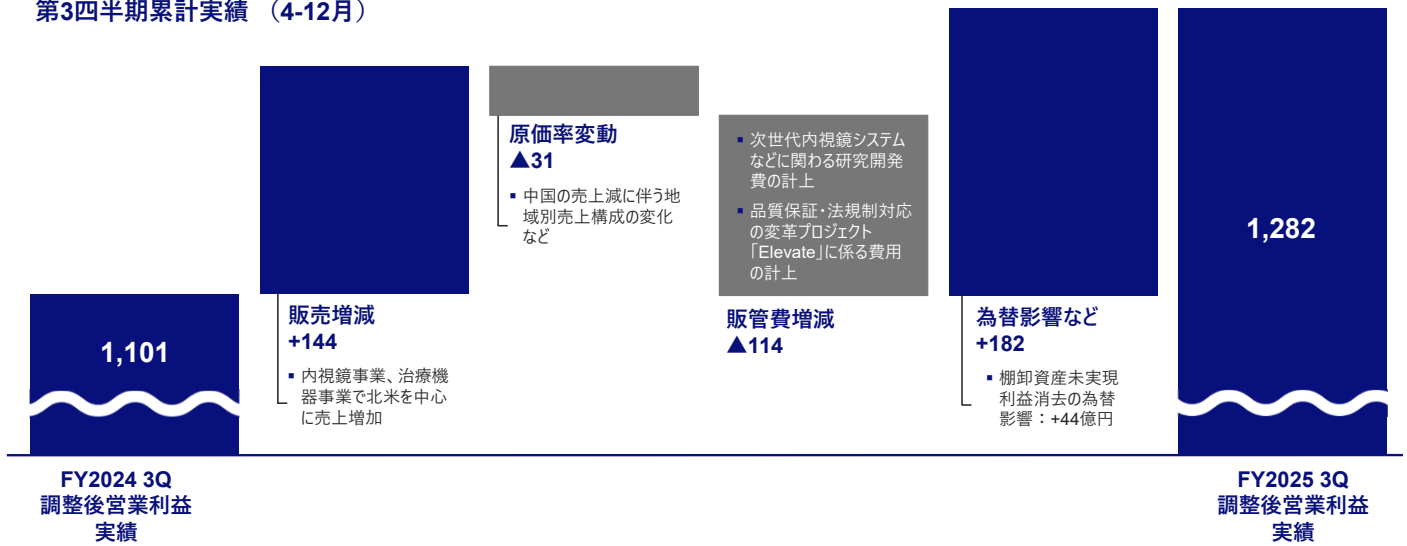


¹ 当第3四半期連結累計期間において、当社は、PTCJ-6Oホールディングス株式会社及びPTCJ-6Fホールディングス株式会社（ボリス・キャピタル・グループ株式会社が設立した特別目的会社。以下「ボリス・キャピタル・グループ」と総称します）に対して、オリンパス医用バイオマテリアル株式会社およびFH Ortho SAS社から構成される整形外科事業を譲渡することについて、ボリス・キャピタル・グループとの間でプット・オプション契約を締結し、当該契約に基づき、2024年7月12日に譲渡を完了しました。これに伴い、整形外科事業に関わる損益を非継続事業に分類しており、前第3四半期連結累計期間についても同様の形で表示しています。なお、売上高、営業利益、調整後営業利益、税引前四半期利益、継続事業からの四半期利益については、非継続事業を除いた継続事業の金額を、四半期利益及び親会社の所有者に帰属する四半期利益については、継続事業及び非継続事業を合算した数値を表示しています。

² IFRS8.5-10「事業セグメント」の要件を満たすセグメントの内、集約基準(IFRS8.12)、量的基準(IFRS8.13)を考慮して決定されたセグメントを指します。これらの基準に基づき、当社グループは、従来「内視鏡事業」「治療機器事業」及び「その他事業」の3区分を報告セグメントとしていましたが、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントを「内視鏡事業」及び「治療機器事業」の2区分に変更しており、前第3四半期連結累計期間についても同様の形で表示しています。

2025年3月期 第3四半期累計実績 連結調整後営業利益増減要因

第3四半期累計実績（4-12月）



(単位：億円) * 本スライドでは継続事業の金額を表示しています。また、「為替影響など」には、決算短信に記載の「持分法による投資損益」も含まれています

プロダクトパイプライン：内視鏡事業 (2025年2月14日時点)



2025年3月期の内視鏡事業における重点施策

- グローバルにおいて、消化器内視鏡システム「EVIS X1」の更なる拡販に注力
- キヤノンメディカルシステムズとの協業により、次世代超音波内視鏡システムを市場に提供。欧州、日本、アジア・オセアニアを皮切りにグローバル展開を見込む
- 新興国の市場ポテンシャルを最大化
- 外科内視鏡システム「VISERA ELITE III」の米国及び中国（2026年3月期第1四半期）での導入を目指し、市場競争力の向上を図る
- インテリジェント内視鏡医療エコシステムのコンセプト及び一部関連製品を欧州で展開予定

2025年3月期
売上高成長率（見通し）

8%

円ベース

3%

為替影響調整後

現在の主力製品	直近の新製品 / 発売予定の製品	中長期のパイプライン
消化器内視鏡 <ul style="list-style-type: none"> EVIS X1 EVIS EXERA III (米国、欧州) EVIS LUCERA ELITE (中国) EU-ME3 (欧州、日本、アジア・オセアニア) 外科内視鏡 <ul style="list-style-type: none"> VISERA ELITE II 2D/3D/IR機能 (米国、中国) VISERA 4K UHD (米国、中国) VISERA ELITE III (欧州、日本、アジア・オセアニア) 	消化器内視鏡 <ul style="list-style-type: none"> 超音波画像診断装置Aplio i800 EUS (米国、欧州、日本、アジア・オセアニア) EU-ME3 (米国) 外科内視鏡 <ul style="list-style-type: none"> VISERA ELITE III (米国、中国) FOCUS AREA インテリジェント内視鏡医療エコシステムを初めて導入 (米国、欧州)	消化器内視鏡 <ul style="list-style-type: none"> シングルコース十二指腸内視鏡 EU-ME3 (中国) 外科内視鏡 <ul style="list-style-type: none"> 次世代外科内視鏡システム FOCUS AREA インテリジェント内視鏡医療エコシステム

注：医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております

プロダクトパイプライン：治療機器事業 (2025年2月14日時点)



2025年3月期の治療機器事業における重点施策

消化器科処置具

- ERCP、ESD、メタルステント、止血デバイス など主要カテゴリにおいて、臨床的に差別化された製品ポートフォリオを拡充

泌尿器科

- 主力製品の経尿道的切除術をサポートするTURisシステムの売上および利益の拡大に加えて、iTindの市場開拓を通じて前立腺肥大の分野で業界をリード
- SOLTIVE SuperPulsed Laser System により、結石破碎治療における成長を拡大

呼吸器科

- 肺がんの診断とステージ分類の分野において、最新のEBUS-TBNAに一層注力
- 「EVIS X1」プラットフォームの導入促進を継続し、気管支鏡の強みを強化

2025年3月期
売上高成長率 (見通し)

8%

円ベース

3%

為替影響調整後

現在の主力製品

消化器科処置具

- Visiglide
- ESD Knife
- EndoJaw

泌尿器科

- レゼクト電極、ESG-410
- ツリウムファイバーレーザー装置 SOLTIVE SuperPulsed Laser System (米国、欧州、アジア・オセアニア)

呼吸器科

- シングルユース気管支鏡 (米国)
- 気管支鏡、超音波気管支鏡
- ViziShot
- スパイレーションバルブシステム
- EVIS X1 気管支鏡 (日本、欧州、アジア・オセアニア)

直近の新製品 / 発売予定の製品

消化器科処置具

- 3製品 (米国)
- 3製品 (欧州)
- 1製品 (日本)
- 2製品 (中国)

泌尿器科

- シングルユース尿管鏡 (米国、アジア・オセアニア、日本)
- SOLTIVE SuperPulsed Laser System (日本)
- iTind (米国、欧州、アジア・オセアニア)
- 4Kカメラヘッド (米国、欧州、アジア・オセアニア、日本)
- VISERA S (米国、欧州、アジア・オセアニア、日本)
- レゼクト電極 (中国)
- 硬性尿管鏡 (中国)

呼吸器科

- 新超音波気管支鏡 (米国、中国)
- EVIS X1 気管支鏡 (米国)
- 超音波プロセッサ (欧州、日本、アジア・オセアニア)

中長期のパイプライン

消化器科処置具

- シングルユース胆道鏡
- 超音波内視鏡検査用吸引生検針
- 新止血クリップ

泌尿器科

- 硬性膀胱鏡
- レーザーシステム

呼吸器科

- 細径超音波気管支鏡
- EVIS X1 気管支鏡 (中国)

注：医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております

2025年3月期 四半期実績 連結業績概況

四半期実績								
(単位：億円)		FY2025 1Q	FY2025 2Q	FY2025 3Q	FY2024 3Q	FY2025 3Q	前期比	為替影響調整後
継続事業	売上高	2,348	2,392	2,512	2,365	2,512	+6%	+4%
	売上総利益 (売上総利益率)	1,562 (66.5%)	1,668 (69.7%)	1,680 (66.9%)	1,614 (68.3%)	1,680 (66.9%)	+4%	+1%
	販売費および一般管理費 (販売費および一般管理費率)	1,188 (50.6%)	1,191 (49.8%)	1,251 (49.8%)	1,177 (49.8%)	1,251 (49.8%)	+6%	+4%
	その他の収益および費用など	▲99	▲46	▲46	▲95	▲46	-	-
	営業利益 (営業利益率)	275 (11.7%)	431 (18.0%)	383 (15.2%)	342 (14.5%)	383 (15.2%)	+12%	+7%
	調整後営業利益 (調整後営業利益率)	372 (15.9%)	478 (20.0%)	431 (17.2%)	436 (18.4%)	431 (17.2%)	▲1%	▲5%
	税引前利益 (税引前利益率)	264 (11.2%)	424 (17.7%)	364 (14.5%)	340 (14.4%)	364 (14.5%)	+7%	-
	当期利益	146	344	274	189	274	+45%	-
	親会社の所有者に帰属する 当期利益	146	344	274	189	274	+45%	-
	非継続事業							

1「売上高」から「税引前利益」までの数値は、継続事業の数値を記載

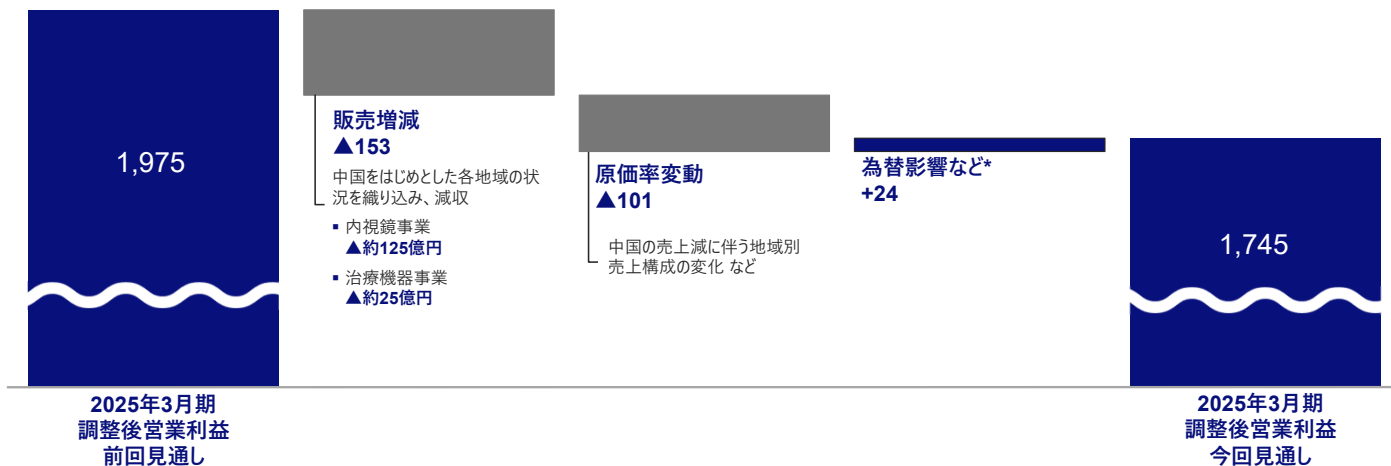
2025年3月期 第3四半期累計実績 その他の収益および費用

(単位：億円)	FY2024 3Q累計	FY2025 3Q累計	増減
その他の収益	21	46	+25
主な収益科目	<ul style="list-style-type: none"> 中国子会社が中国・深圳市に保有する土地使用权及び建物を深圳市政府へ返還したことに伴う補償金 12 (全社・消去) 和解に伴う、中国子会社に対する訴訟の引当金の戻入 11 (全社・消去) 		
その他の費用	743	240	▲503
主な費用科目	<ul style="list-style-type: none"> Veran Medical Technologies社関連損失 508 (治療機器) 品質保証・法規制対応の変革プロジェクト「Elevate」に係る一時的な費用 170 (内視鏡、治療機器) 社外転進支援制度の実施に伴う特別支援金等の費用 20 (内視鏡、治療機器、全社・消去) 開発資産の減損損失 14 (治療機器) 品質保証・法規制対応の変革プロジェクト「Elevate」に係る一時的な費用 158 (内視鏡、治療機器) 社外転進支援制度の実施に伴う特別支援金等の費用 29 (内視鏡、治療機器、全社・消去) 開発資産の減損損失 18 (内視鏡、治療機器) 		

* 本スライドでは継続事業の金額を表示しています

2025年3月期業績見通し 連結調整後営業利益増減要因（前回見通し比）

2025年3月期通期 11月8日公表見通し比



(単位：億円) *「持分法による投資損益」が含まれています

キャピタルアロケーション

方針

- ☑ 成長ドライバーへの優先的な投資
- ☑ 安定的かつ段階的な増配
- ☑ 機動的な自己株式の取得

FY2025

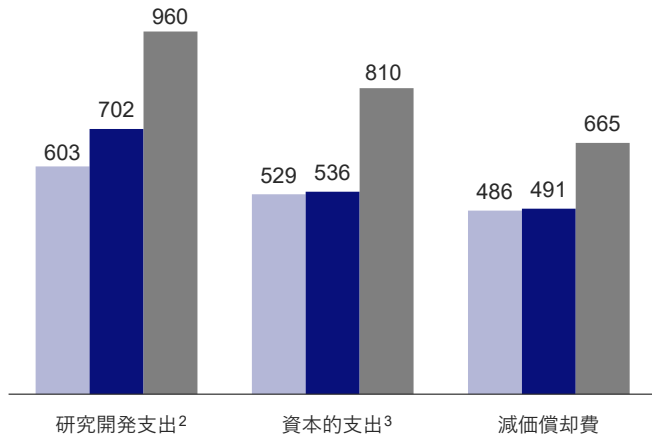
- ☑ 注力3領域への積極的な投資
- ☑ 年間配当は2円増の20円を予定
- ☑ 2024年11月までに1,000億円の自己株式の取得を完了



投資実績推移および2025年3月期 通期見通し

第3四半期累計実績（4-12月）および通期見通し¹

(億円) ■ FY2024 3Q ■ FY2025 3Q ■ FY2025 通期見通し



(単位：億円)	FY2024	FY2025
研究開発支出 ² (a)	603	702
開発費資産化 (b)	99	102
損益計算書上における 研究開発費 (a-b)	504	600

(単位：億円)	FY2024	FY2025
償却費	62	60
	2024年9月末	2024年12月末
開発資産残高	600	630

¹ 本スライドでは継続事業の金額を表示しています

² 研究開発支出には、開発費資産化(b)の数値が含まれています

³ 資本的支出には、開発費資産化(b)の数値が含まれています。また、2021年3月期よりIFRS第16号「リース」を適用し、資本的支出には下記使用権資産が含まれています。(FY2024 3Q累計：86億円、FY2025 3Q累計：117億円、FY2025通期見通し：140億円)

為替レート及び為替感応度

第3四半期累計期間の実績を反映し、通期見通しの為替レートを更新

為替

(単位：円)	FY2024 1Q	FY2024 2Q	FY2024 3Q	FY2025 1Q	FY2025 2Q	FY2025 3Q	FY2025 見通し
円/ドル	137.37	144.62	147.89	155.88	149.38	152.44	153.68
円/ユーロ	149.47	157.30	159.11	167.88	164.01	162.59	164.37
円/人民元	19.56	19.94	20.44	21.48	20.82	21.16	21.11

為替感応度（年間）

(単位：億円)	売上高	営業利益
ドル（1円あたり）	26	5
ユーロ（1円あたり）	16	5
人民元（1円あたり）	52	27

*上表の数値は継続事業の金額を表示しています。また、為替感応度（年間）はFY2024Q4実績より算出しています

略語集

略語	英語	日本語
BPH	Benign Prostatic Hyperplasia	前立腺肥大症
EBUS-TBNA	Endobronchial Ultrasound-guided Transbronchial Fine Needle Aspiration	超音波気管支鏡ガイド下針生検
ERCP	Endoscopic Retrograde Cholangio Pancreatography	内視鏡的逆行性胆道膵管造影術
ESD	Endoscopic Submucosal Dissection	内視鏡的粘膜下層剥離術

2025年3月期 四半期実績 リンク先

2025年3月期 四半期実績（10-12月）は決算参考資料よりご確認ください

項目	URL
連結決算概要	https://www.olympus.co.jp/ir/data/brief/pdf/02_data_Q3FY2025_jp.pdf#page=2
セグメント別情報-医療・ESD・TSD	https://www.olympus.co.jp/ir/data/brief/pdf/02_data_Q3FY2025_jp.pdf#page=3
セグメント別情報-全社消去	
投資他	https://www.olympus.co.jp/ir/data/brief/pdf/02_data_Q3FY2025_jp.pdf#page=6
連結キャッシュフロー計算書	